

## 令和4（2022）年度九州福祉心理士会研究大会 報告書

テーマ：社会的養護の現状とこれから ～福祉心理学から見つめて～

企画趣旨：こども基本法の施行や子ども家庭庁の創設など、子どもや子育てを取り巻く環境は大きく変化しようとしている。また「新しい社会的養育ビジョン」（厚生労働省）の実現に向けた取り組みなど、社会的養護の現場においても大きな転換期を迎えている。本企画では、福祉心理士及び学会員をはじめ福祉・心理・教育関係者を対象とした研修会の開催を通して社会的養護の現場における福祉心理学の可能性について考える機会とする。

日時：令和5年2月19日（日）13：30～16：00

会場：筑紫女学園大学 6号館1階6101教室（福岡県太宰府市石坂2丁目12番1号）

基調講演：講師 田中れいか氏（一般社団法人たすけあい 代表理事）

シンポジウム：

シンポジスト 田中れいか氏（一般社団法人たすけあい 代表理事）

中嶋亮太氏（NPO法人青少年の自立を支える福岡の会 自立援助ホームLEAP ホーム長）

他筑紫女学園大学学生

コメンテーター：大迫 秀樹氏（福岡女学院大学）

コーディネーター：大西 良氏（筑紫女学園大学、日本福祉心理学会）

参加者：日本福祉心理士会会員、福祉・教育関係者、学生等30名程度

感想：

田中れいかさんの基調講演では、著書「児童養護施設という私のおうち」が出版されるまでのエピソードやこれからのご自身が目指すものなどについてのお話がありました。ご自身の生き立ちも交えながら、とても感動的なお話の内容でした。

またシンポジウムでは、自立援助ホームLEAPの中嶋亮太さんならびに田中れいかさん、筑紫女学園大学の学生もシンポジストとして登壇し、「大人になることの困難」ということをテーマにお話をしました。

コメンテーターとして、大迫秀樹先生からも示唆に富むお話をいただきました。

参加された多くの方にとって、当事者の声を含め社会的養護の現状と課題について学び良い機会になったと思います。

